

委員会のおうづき

総務 教育

常任委員会

黒潮町和紙工房施設

指定管理者を決定



委員長 山崎 正男

●ふるさと納税基金条例の制定

寄付金の適正管理で効率的な運用を図るためにこの基金条例をつくるもので、目標額は2億円とのことです。

寄付者の意向や目的に沿った利用がされているのか質問があり、ふるさと納税の使い方には寄付金をまず基金に積み立てて、寄付者の目的に合う

ように使うとのことで、返礼する際に礼状の中で寄付目的に使われた内容を記入して返事をしていくとのこと。その他納税に比べ、支出が多すぎるのではという意見もありました。

●個人情報保護条例等の一部を改正する条例

個人情報の内容を詳しくし、要配慮個人情報の取り扱いや開示できるものと開示できないものを明確にしたものです。

●移住者支援住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

町内住所の保証人を探すのは移住者には困難であったので、これを解消し、要件を単身者でも入居できるように改正したものです。この住宅で1年間暮らすうちに町内の空き家を探して頂き、移住を促進するものです。過去の実績は7件の入居があり、うち5件は民間住宅に移住しています。

●和紙工房施設の設置及び管理に関する条例の制定

伝統産業の継続で、集落活動センターの活用と佐賀北部を活動拠点として地域の活性化に取り組むもので、使用料は免除の方向で検討中とのこと。紙すき体験は佐賀温泉とセットで対応します。

●和紙工房施設に係る指定管理者の指定

黒潮町拳ノ川46番地1、佐賀北部活性化協議会の大石正幸会長を指定するもので、平成29年4月1日から平成34年3月31日までの5年間で。



新設の和紙工房で初焚きが(4月2日)

金謝礼1億4500万円とふるさと納税寄付金業務代行委託料2808万円の計上で。

■企画費 2億7600万円

主なものは、定住促進住宅設計施工管理委託費1千万円と定住促進住宅整備工事8千万円(800万円×10件分)、集落活動センター整備工事3660万円、土佐くろしお鉄道経営基金負担金2465万円などを計上したものです。

■情報化推進費

4億3547万円
主に委託料2590万円は保守料。水道中央監視装置整備光伝送路整備工事2046万円は新庁舎へ設置するもの、防災拠点及び観光拠点向け公共WiFi導入工事は1550万円、総務省防災拠点づくりで21カ所を活用できるようにするものです。

●平成29年度一般会計
予算

歳出

■一般管理費

6億7647万円

この内、ふるさと納税寄付

■国土調査費

1億1883万円

委託料9297万円は、川